

# 枕崎市における武道（なぎなた）指導の実践紹介

鹿児島県枕崎市教育委員会  
保健体育課

枕崎市は、薩摩半島の西南端に位置し、風光明媚で豊かな自然に囲まれ、全国でも有数の港町である。枕崎港に水揚げされるかつおをはじめ、豊富な魚介類はいずれも新鮮で、古来の伝統と最新技術で製造された「枕崎鰯節」は、生産量日本一である。また、暖地性気候を生かした農業も盛んで、お茶や電照菊生産の一大拠点になっている。

鹿児島県は本年10月に鹿児島国体が行われ、本市はなぎなた競技の開催地である。昨年5月には、国体のリハーサル大会が行われ、本番に向けた準備も本格化してきた。本市では、国体に向け市全体でなぎなたを盛り上げていこうと、普及・啓発に取り組んできた。昨年の茨城国体のなぎなた競技では、鹿児島県勢が活躍し、少年女子の演技と試合の両部門で史上初の準優勝、総合成績でも2位と、すばらしい結果を残すことができた。

この成果を今後につなげ、更に発展させていくために、現在も普及活動に取り組んでいるところである。



さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり三尺玉大花火



国体リハーサル大会

## 1 枕崎市のなぎなたの取組

本市には、中学校が4校あり、平成30年度から武道の授業において、体験を通じた普及を目的として、なぎなたの授業を行っている。令和元年度は、『たくましくかごしまっ子』育成推進事業』中学校武道等授業への地域指導者の派遣』事業を活用し、市内の4中学校で、柔道となぎなたの複数種目に取り組み、生徒に多様な武道種目に触れる授業の実践研究を実施した。複数種目を実施するにあたり、本市の保健体育科教員には、なぎなたの指導経験者がいないため、県なぎなた連盟の外部指導者を招聘した授業を行うこととし、以下の4点をねらいとした。

- ①優れた外部指導者と連携した授業を実施することで、専門的な技術に教員が触れながら学ぶことができ、効率的に指導方法が
- ②教員が外部指導者と連携して授業を行うことで、なぎなたの特性を把握するとともに、指導及びつまずきのポイントを習得する。
- ③専門的な技能に加え、安全指導となぎなたに関する基本的な知識の習得及び指導力の向上を図る。
- ④なぎなたの学習を通して礼法を学び、日常生活に生かして実践化を図る。

## 2 指導の実際

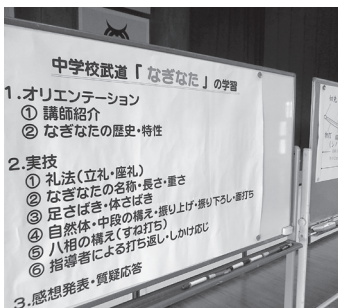
(1) 外部指導者とT.Tで授業を行うための具体的な取組

- ①授業として行うため、なぎなたの指導に関する部分は外部指導者に指導を仰ぐとともに、全体指導については教員が行うなど、役割分担を明確にした。
- ②国体関係で県なぎなた連盟と常に連携を図っている市教委の担当職員が、外部指導者と綿密に打ち合わせを行った。そして、打ち合わせで出た要望や内容を、各学校の教員に伝えるようにした。また、学校からの要望や意見も、外部指導者に伝えるようにした。

- ③授業の大まかな流れや、当日の準備などを市教委が担当することと、学校の負担を軽減することに努めた。



事前配布資料



授業時の掲示物

- (2) 安全確保のための配慮
- ①取組の決定後、なぎなたの概要について学校及び生徒に理解してもらうために、なぎなたの基本について分かりやすくまとめているDVDや、なぎなたの指導に生かせる資料送付を全日本なぎなた連盟に依頼した。DVD

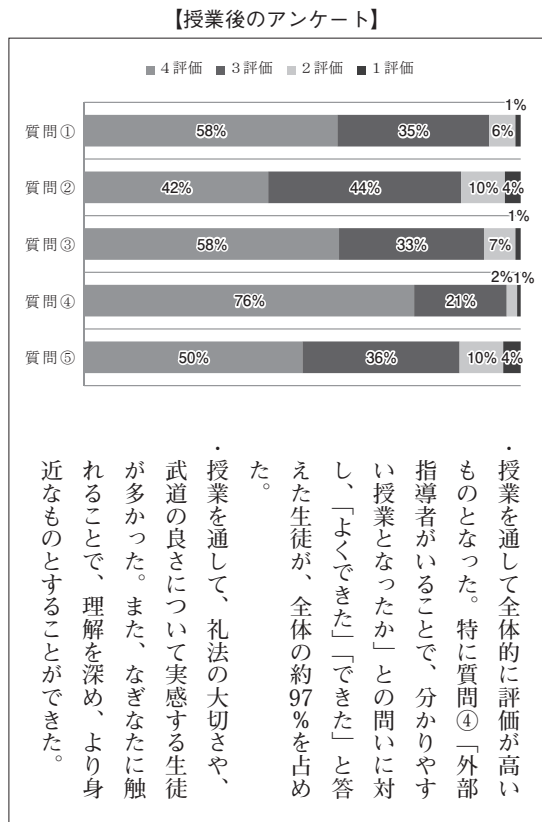
〔成果〕  
○ なぎなたに初めて取り組む生徒が多く、運動が苦手な生徒もいたが、抵抗なく授業に取り組むことができた。  
○ 外部指導者に指導をもらうことで、専門的な指導を実施することができた。また、複数の

補助員にも参加いただくことで、安全面や個々の生徒への指導等につなげることができた。  
○ 生徒のアンケートより、なぎなたについて改めて関心を持つ生徒が増え、本市で開催される国体なぎなた競技を、より一層盛り上げていく気運を高めること

を指導した（写真②）。正座をすることに慣れていない生徒や、姿勢が不十分な生徒に補助員が付き、個別の対応や指導を行った。  
② 足さばき、体さばき  
なぎなたを行う上での基本的な足さばきや体さばきの動きを指導した。普段なかなか行わない動きに、生徒たちは苦労しながらも、一生懸命取り組んでいた。

本市で保健体育を指導している教員は免許保有者であり、日々の授業において技術も知識も専門的な指導を実践している。ただ、今回のような専門外の武道を授業で実践する場合、優れた外部指導者

### 3 成果と課題



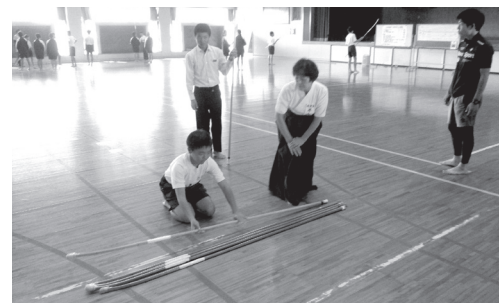
ができた。  
〔課題〕  
● 市教委と外部指導者との打ち合わせは、補助員の決定や、授業内容について話し合い、ある程度内容が整った段階で、保健体育科教員につなぐ形で進めた。課題は、情報伝達に時間を要す

ることや、学校での打ち合わせ時に保健体育科教員の要望が出た場合、再度市教委がつなぐ形となることであった。今後は、連盟関係者と保健体育科教員の打ち合わせの場の設定の在り方について、検討していく必要がある。

### 4 おわりに

武道指導においては、安全面への配慮を最重要視しながら、武道の伝統的な礼儀作法や考え方を理解させ、相手を尊重する心を育てることを目的とした指導を行っている。

本市で開催している授業実践を通じた教科部会の研修を充実させたり、県教委が主催する様々な武道に関する研修会に、積極的に参加ができるように啓発に努めたりするなどして、授業実践を通じた指導力向上に寄与できるように、更に取り組んでいきたい。



①



②



③

なぎなたの授業に関するアンケート  
( ) 中学校 年 男 ・ 女

授業を通して、当てはまる番号に○をつけてください。

|                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 4 よくできた・そう思う          | 3 できた・ややそう思う    |
| 2 あまりできなかった・あまりそう思わない | 1 できなかった・そう思わない |

① なぎなたのことに理解を深めることができたか。( 4 3 2 1 )

② なぎなたの技能を高めることができたか。( 4 3 2 1 )

③ なぎなたの礼法を身につけることができたか。( 4 3 2 1 )

④ 外部講師がいることで、分かりやすい授業となったか。( 4 3 2 1 )

⑤ これまで以上になぎなたに興味を持つようになったか。( 4 3 2 1 )

授業を通しての感想を書いてください。  
思ったことや感じたこと、学びを深めることでできたことなど。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |



Dは市の教頭研修会の際、市内全小中学校に配付して活用を図り、中学校については、授業実施前に活用してもらうよう依頼した。  
② 授業の導入時に、細かな安全指導を行った。また、なぎなたの取り扱いについても丁寧に説明した（写真①）。生徒の人数に對し、外部指導者及び、補助員の数を調整し、適正な配置に努めた。補助員は、安全面や個々の生徒へ細やかな指導を行うた

め、県なぎなた連盟より常時2～3名を招聘し、どの授業においても、外部指導者と保健体育科教員のための指導とならないように計画した。  
③ 授業中は、楽しみながらも適度な緊張感を持たせ、指導者が指導する際は、しっかりと「聞くこと」「見ること」に集中させた。

を指導した（写真②）。正座をすることに慣れていない生徒や、姿勢が不十分な生徒に補助員が付き、個別の対応や指導を行った。  
② 足さばき、体さばき  
なぎなたを行う上での基本的な足さばきや体さばきの動きを指導した。普段なかなか行わない動きに、生徒たちは苦労しながらも、一生懸命取り組んでいた。

対象…市内4中学校の授業実施クラス（男子131人、女子119人の計250人）  
(4) 授業後の生徒のアンケートの実施